

平成 30 年度 松本県ヶ丘高等学校入学者選抜について

1. 日程（期日はいずれも平成 30 年）

前期選抜（自然探究科・国際探究科）		後期選抜（普通科・自然探究科・国際探究科）	
志 願 受 付 期 間	1 月 31 日(水)～2 月 2 日(金)	志 願 受 付 期 間	2 月 21 日(水)～2 月 23 日(金)
選 抜 実 施 日	2 月 7 日(水)	志 望 変 更 受 付 期 間	2 月 26 日(月)～3 月 1 日(木)
合 格 者 の 発 表	2 月 15 日(木)	選 抜 実 施 日	3 月 7 日(水)
入 学 確 約 書 提 出 期 限	2 月 20 日(火)	入 学 予 定 者 発 表	3 月 16 日(金)

2. 入学者選抜実施予定概要（予定）

（表の見方）

- 「募集」欄は平成 29 年度入学者選抜の募集学級数です。平成 30 年度入学者選抜の募集学級数は 11 月に発表する予定です。
- 自然探究科・国際探究科はくくり募集であり、入学時にどちらの学科にするか選択する必要はありません。
- 前期選抜の募集率％の数字は募集人員の上限を表しています。
- 第 2 志望欄の○印がついている学科間においては相互に第 2 志望を認めます。
- 再募集欄は前期選抜および後期選抜において募集定員に満たなかった場合の実施予定内容です。
- 空欄になっている箇所については実施しません。
- 小論文 B は与えられたテーマに関して論理的に構成されたいくつかの設問に答える形式です。

学 科	募 集	前期選抜（自己推薦型選抜）					
		募集率％	募集の観点	志願理由書 (PR 文)	面接	作文 (小論文)	実技検査
普通	7						
自然探究	2	80	次のすべてに該当する者。 ① 中学校の学習において、学習成績（特に国語、社会、数学、理科、英語）が優秀で、発展的な事柄にも強い学習意欲を持って学んできた者。 ② 自然科学、人文社会科学、国際文化などの領域に対する知的好奇心や探究心があり、発展的な教科学習や課題解決を図る学習に積極的に取り組むことができる者。 ③ 学習に加えて、部活動、学校行事、生徒会活動などに積極的に参加し、主体的・協働的に活動ができる者。	本校指定の用紙に志望動機、高校卒業後の進路希望、自然科学分野、人文社会科学分野などで興味のあることなどを記入する。	《個人面接 5 分程度》 志望動機、中学校生活、将来の進路希望、志願理由書に記入した内容等について質問する。	《小論文 B》 時間 80 分 中学校で学習した内容をもとに、与えられた課題について、問いに答えたり、自分の考えを論述したりする。	
国際探究							

学 科	後期選抜（一般選抜）						再募集（第 2 次募集）					
	志願理由書(PR 文)	面接	作文	実技検査	傾斜配点	第 2 志望	志願理由書(PR 文)	面接	作文	実技検査	傾斜配点	第 2 志望
普通						○						
自然探究						○						
国際探究								○				

3. 前期選抜における評価方法（予定）

（はじめに） 前期選抜においては、調査書と面接に加えて、指定した選抜資料を総合的に評価して可否の判定が行われます。ただし、上記の「募集の観点」により、特定の資料を重視することがあるため、おおよその比重および評価項目について、示します。

（表の見方）

- 「調査書」から「実技検査」欄の「比重」の数値は、それぞれの資料が総合判定においてどの程度重視されるのか、その目安を百分率で表しています。評価点を示したのではなく、合計して可否を判定するわけではありません。
- 「調査書」から「実技検査」欄の「項目等」の内容は、それぞれの資料において重視する項目を表しています。
- 「調査書」はすべての記載内容を判定資料としますが、特に重視する項目については「項目等」欄に表記しています。
- 事前に提出された「志願理由書」の記載内容については、調査書及び面接の参考になります。
- 「調査書」の学習成績における評定値を示す場合は目安として示しています。

学科	評価方法	調査書	面接	作文(小論文)	実技検査	備考
自然探究	比重	50	10	40	—	
	項目等	各教科の学習の記録（特に国語、社会、数学、理科、英語を重視）を中心に、基本的生活習慣、総合所見等を総合的に評価する。	志望動機 意欲・態度 自然科学、人文社会科学、国際文化などに対する興味・関心	課題理解力 批判的思考力 創造的思考力 表現力	等	